

トイレ快適

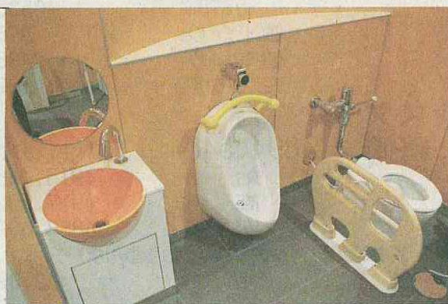
訪日客へ全駅洋式

▲小田急 東京ディズニー▼

暖房便座など充実

鉄道会社やレジャー施設が訪日外国人客の増加を受け、トイレを快適で使いやすく改修する。小田急電鉄は2016年度

小田急電鉄は一部駅で子供用のトイレを設置(東京・世田谷の東北沢駅)



中に全70駅の個室トイレをすべて洋式にし、オリエンタルランドは東京ディズニーリゾート(TDR、千葉県浦安市)でお尻を洗う機能を完備する。和式の使い方に戸惑う訪

日客が多く、利便性を高め集客増につなげる。

訪日客に人気の箱根エリアへの路線をもつ小田急電鉄は、16年度中に個室すべてがまた洋式でない31駅を改修する。投資額は数億円程度。沿線住民も洋式を使う客が増え、和式が空室でも行列

ができることがある。一部の駅では子供用の小さな便座や女性が化粧しやすいパウダーコーナーを設ける。

東日本旅客鉄道(JR東日本)は16年度に17億円を投じ、首都圏近郊や新幹線駅を中心に21駅で改修し洋式を増やす。京阪ホールディングス(HD)は訪日客が多い京都市中心部の駅で改修を進める。祇園四条駅で工事中のほか、16年度に出町

柳や清水五条、七条の3駅で工事に取掛かる計画だ。和式を訪日客からの要望が多い洋式に切り替える。

オリエンタルランドは16年度末までに東京ディズニーランド(TDL)と東京ディズニーシー(TDS)の約100ある入園者用トイレを改修する。行列がでやすい女性用で個室を増やす。冬場でもひんやりしない暖房便座やお尻を洗う機能もつける。

日本政府観光局によると、4月の訪日外国人数は前年同月比18%増の2

08万人と、単月で過去最高を更新した。